



# 但馬水産技術センターだより



## 漁況情報 (G2342号)

令和6年1月23日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ホタルイカ・ハタハタの来遊状況等について (調査船たじまによる半中層トロール調査結果)

令和6年1月18日に香住沖で、漁業調査船「たじま」による海洋観測とトロール試験操業を実施しましたので結果を報告します。

#### 1. 海洋観測結果

- ・香住沖水深175、200、225、250mの各点で海洋観測と魚探の収録を行いました(図1)。
- ・水深140～200mに温度が13～3℃に急激に変化する水深帯があり、海底斜面に接していました(図2)。
- ・キュウリエソ(ギンギラ、ドブ、ギンジ)を主体とするとみられる最も強い魚探反応は3℃水温に沿って離底しました。
- ・観測域の海底水温は5.7～2.0℃の範囲にあり、操業海域では2℃台でした(表1、図2)。

#### 2. トロール試験操業結果

- ・半中層トロール網(袖先間隔17m、網高さ8m、袋網16節、モジ網240経カバーネットあり)を使用しました。
- ・平均水深236mと222mの2か所で曳網しました(3ノット、30分、E曳き)。

##### ＜ホタルイカ＞

- ・入網量は、両地点とも前年を上回りました(表2)。
  - ・外套背長<sup>\*1</sup>は主に44-52mmで、平均外套背長および平均体重は前年を僅かに上回りました(図3)。
  - ・メスの比率、交接率<sup>\*2</sup>、熟度ともに低く、来遊初期の群の性状を示しています(図3)。
- \*1外套背長:イカの筒部分背側の長さ \*2交接率:交接を終えオスから精子を受け取ったメス個体の割合

##### ＜ハタハタ＞

- ・水深236mでややまとまった入網がありました(表2)。
- ・体長130～160mmの2歳魚が主体でしたが、1歳魚(100mm未満)も姿を見せ始めています(図4)。

##### ＜餌料生物＞

・両種の餌となる小型甲殻類(ツノナシオキアミ、ニホンウミノミ)のカバーネットでの採集量は前年並みでした。今回はハタハタの好物であるニホンウミノミの割合が高く、ハタハタの来遊との関連性が注目されます。

#### 3. その他

今後も5月にかけて「たじま」による調査を予定しています。実施にあたっては、極力皆様の操業の妨げにならないよう注意しますので、調査へのご理解と、情報交換をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（担当：大谷）

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nourincg\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.html

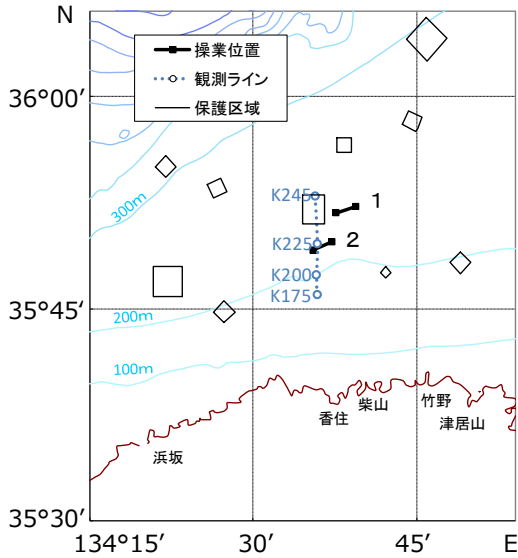
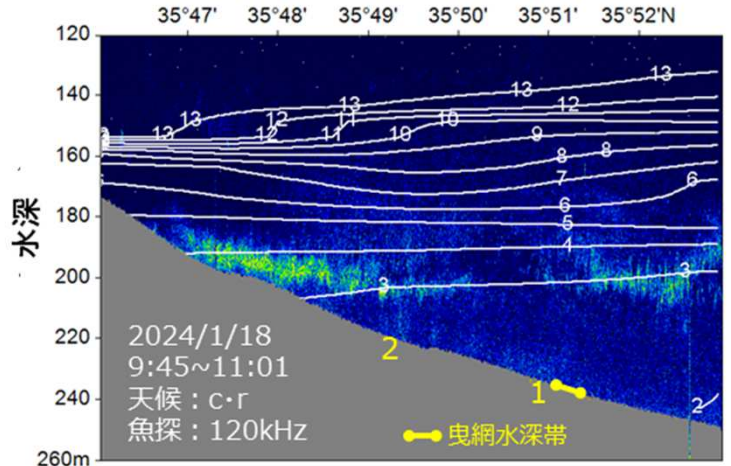


図1 調査海域図



※120m以深のみ表示していることに注意

図2 観測ラインの水温度鉛直断面図と魚探反応

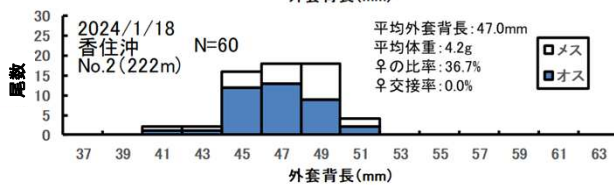
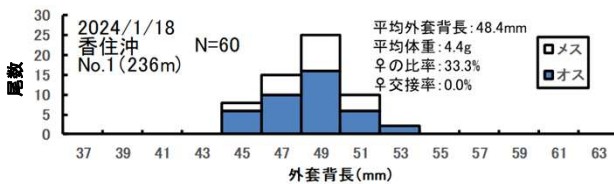
表1 観測点における海底水温

2024/1/18			2023/1/31		
St.	深度 [m]	水温 [°C]	St.	深度 [m]	水温 [°C]
K175	176	5.7	K175	172	8.5
K200	200	3.8	K200	197	4.0
K225	223	2.7	K225	221	2.3
K245	248	2.0	K250	254	1.5

表2 操業と入網物の状況

(参考; 前年)

調査年月日	2024/1/18		2023/1/31	
海域	香住沖		香住沖	
曳網回次	1	2	1	2
平均曳網水深(m)	236	222	245	223
曳網開始時刻	11:37	13:24	11:54	13:44
ホタルイカ	66.0	39.9	8.3	30.0
入網	14.4	1.4	0.2	0.6
重量 (kg/網)	8.0	1.9	29.8	5.3
ホタルイカモドキ	0.1	15.4	0.0	3.0
キュウリエソ	11.8	11.6	12.3	8.3
オアミ・ウミミ (カバネット)				



(以下参考; 前年)

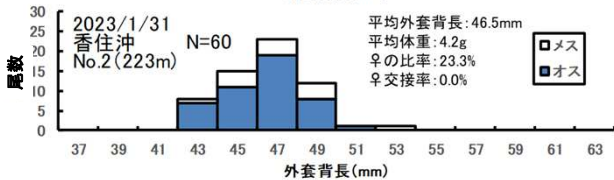
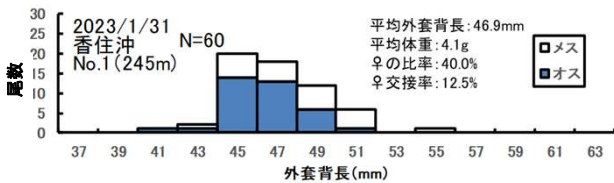
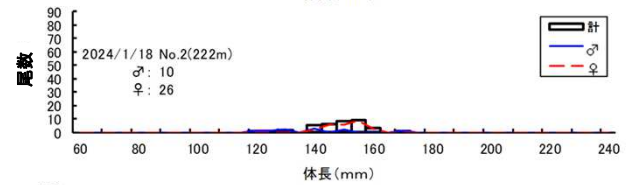
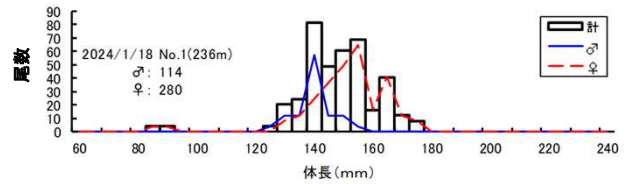


図3 ホタルイカ外套背長組成



(以下参考; 前年)

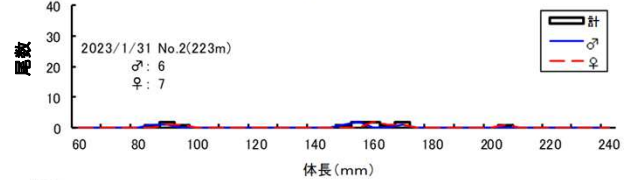
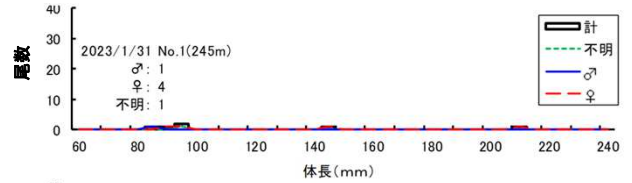


図4 ハタハタ体長組成